



CEReS

Newsletter No. 55

Center for Environmental Remote Sensing, Chiba University, Japan

千葉大学環境リモートセンシング
研究センターニュース 2010年6月
(本号の編集担当：建石隆太郎)
発行：環境リモートセンシング研究センター
住所：〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33
Tel: 043-290-3832 Fax: 043-290-3857
URL: <http://www.cr.chiba-u.jp/>

「地球温暖化寄附研究部門公開シンポジウム（平成22年度）」報告



千葉大学 環境リモートセンシング研究センター

寄附研究部門公開シンポジウム

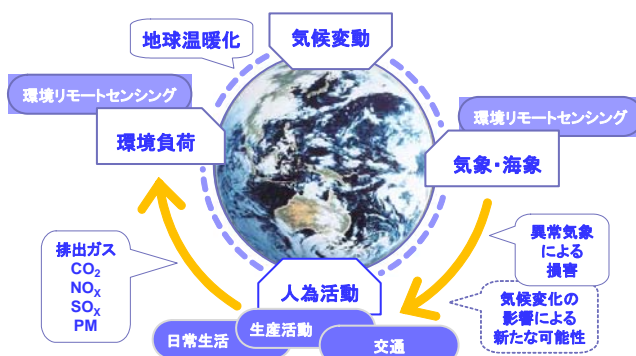
— 地球温暖化現象の解明・対策・適応への挑戦 —

6月9日(水) 13:00~17:30 けやき会館3階・レセプションホール

千葉大学環境リモートセンシング研究センター（CEReS）地球温暖化寄附研究部門公開シンポジウムが、6月9日（水）に千葉大学けやき会館において開催されました。このシンポジウムの開催は今回で2回目になりますが、第1回に引き続き、地球温暖化が予測される未来に向け、そのモニタリング、影響予測、適応・実利用等を話題としました。今年度は、第一部「リモートセンシングによるCO₂・気候モニタリング」、第二部「温暖化による黄砂への影響予測と花粉飛散モニタリング」、第三部「交通気象モニタリングと温暖化の実利用」と題して、三部構成で行われました。あわせて、CEReSでこれまで実施されてきた6つの研究プロジェクトの内容を紹介する、ポスター展示も行われました。

初めに、CEReSの久世センター長よりシンポジウムについての趣旨説明があり、その後、様々な分野の専門家から幅広く話題の提供をいただきました。国立環境研究所、気象研究所、東日本高速道路株式会社の方々による三件の招待講演と、株式会社ウェザーニューズの方々およびCEReS教員による講演の、計9講演が行われました。また、千葉大学の関係者、株式会社ウェザーニューズの関係者はもちろん、日本気象予報士会や環境関連企業の皆様にも多数参加をいただき、活発な議論のすえ、当初予定していたシンポジウムの終了時刻を20分ほど超過しての閉会となりました（参加者総数：75名）。なお、CEReSニュースレターNo. 51にありますように、シンポジウム開催直前の5月22日に、当寄附研究部門の石橋博良客員教授が逝去されたことは、本当に残念でなりません。（常松展充）

地球温暖化と気象・海洋情報の活用



【平成22年度 地球温暖化寄附研究部門公開シンポジウム 講演プログラム】

>>>> 第一部「リモートセンシングによるCO₂・気候モニタリング」<<<<< 座長：久世 宏明

講演(01)「大気中CO₂濃度の変動と民間航空機を使ったグローバルな観測展開」

町田 敏暢（独立行政法人国立環境研究所） 招待講演

講演(02)「GOSAT衛星による宇宙からのグローバルなCO₂濃度観測」

齋藤 尚子（CERES）

講演(03)「環境感測超小型衛星の開発」

山本 雅也・原山 洋平（株式会社ウェザーニューズ）

講演(04)「静止気象衛星による放射収支の推定 -全球準リアルタイムモニタリングへの挑戦-」

高村 民雄（CERES）

>>>> 第二部「温暖化による黄砂への影響予測と花粉飛散モニタリング」<<<<< 座長：樋口 篤志

講演(05)「温暖化に伴う大気の変化が黄砂発生に及ぼす影響 -領域モデルによる研究」

常松 展充（CERES）

講演(06)「全球スケールで見た気候変動と黄砂の関係 -全球モデルによる研究-」

田中 泰宙（気象庁気象研究所） 招待講演

講演(07)「空間情報・感測データ統合型花粉情報提供支援システム」

「ウェザーニューズ花粉プロジェクトについて」

小津 慎吾（株式会社ウェザーニューズ）

「針葉樹の花粉飛散量とNDVIとの関係」

本郷 千春（CERES）

>>>> 第三部「交通気象モニタリングと温暖化の実利用」<<<<< 座長：近藤 昭彦

講演(08)「マイクロ波による道路雪氷モニタリング -路上積雪・路面凍結の検知・識別手法について-」

長 康平（CERES）

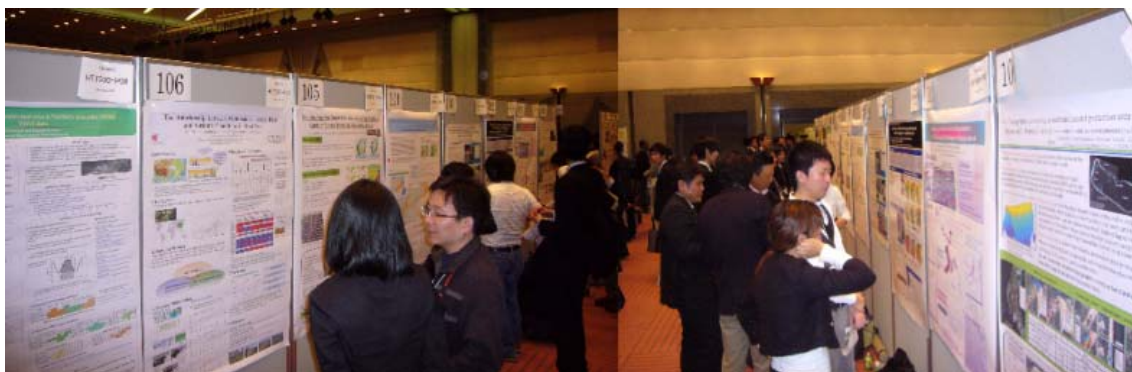
講演(09)「高速道路における冬期道路維持管理について」

千田 洋一（東日本高速道路株式会社） 招待講演



日本地球惑星科学連合大会 2010

”Environmental Remote Sensing”セッションを共催



5月23日～28日の日程で開催された日本地球惑星科学連合大会において CEReS は「Environmental Remote Sensing」セッションを共催しました。このセッションは連合が推進する国際化に対応し、英語による国際セッションとしての開催となりました。6件の口頭発表と8件のポスター発表で構成されましたが、口頭発表は約50名ほどの参加者を得て、活発な議論が展開され、ポスター発表では終了時間を過ぎても熱い議論が続き、多くの方々と交流することができました。講演内容は多岐にわたりましたが、One Global, Many Worlds、すなわちグローバルは一つ、世界はたくさん、を基本的なスタンスとして様々な環境問題の理解を目指してみました。環境問題は地域における人と自然の関係に関する問題、地域はそこに住む人々にとっての世界ですので、たくさんの世界を認識することが環境問題の理解につながります。今回は国際セッションとしたことで参加者の減少が懸念されたのですが、結果として多くの参加者を得て、環境リモートセンシングに対する関心の高さを改めて意識することとなりました。留学生の発表の機会としても、来年も継続を検討したいと思います。(近藤昭彦)

Oral Session		
1	The Extraction of Flood Risk Factors and Assessment of Flood Disaster Using GIS and RS Image Data	<u>Youngjoo Kwak, Akihiko Kondoh, Jonggeol Park</u>
2	Rapid detect and analysis of earthquake-induced secondary mountain disasters based on multi-sensor remote sensing	Bingwei Tian, Katsuaki Koike
3	Land cover change on Mt Pinatubo, the Philippines, monitored using ASTER VNIR	Ronald De Rose, Takashi Oguchi, Wataru Morishima
4	Research on simple approximation process of mangrove distribution region	Yuji Kuwahara, Hiromune Yokoki, Jinyoung Kim
5	Analyses on Paddy Field Changes in Sangjiang Plain, Northeast China by Satellite Remote Sensing	<u>Hailan Li, Akihiko Kondoh</u>
6	Estimation of percent tree cover in Asia using simulation data	<u>Toshiyuki Kobayashi, Javzandulam Tsend-Ayush, Ryutaro Tateishi</u>

Poster Session		
1	Topographic surveying to estimate coastal protection area : Majuro atoll, Marshall Island	Yuki Eda, Yuji Kuwahara, Hiromune Yokoki
2	Analyses on erosion and sedimentation around the mouth of Ganges in Bangladesh	<u>Katsuhiro Ohtani, Akihiko Kondoh</u>
3	Land cover classification using multi-temporal satellite images in a subtropical area	Mitsunori Ishihara, Hitoshi Hasegawa, Shigeki Yasumura
4	Ancient sites mapping in Mesopotamian marshland region based on remote sensing data	Tomoya Goto, Hitoshi Hasegawa, Ken Matsumoto
5	Study on the Vegetation Change and its Cause in Arid and Semi-arid Region in East Asia	<u>Hokuto Morino, Akihiko Kondoh</u>
6	Monitoring the Forest Disturbance in the Southern Limit of Boreal Forest in Primorsky, Russia	<u>Masami Arai, Akihiko Kondoh</u>
7	The Relationship between Outbreak of Asian Dust and Ground Condition in East Asia	<u>Feifei Cui, Akihiko Kondoh</u>
8	Phenological analysis for cultivated area in Northern Asia using MODIS NDVI data	<u>Enkhzaya Tsevengee, Tateishi Ryutaro</u>

(下線のついた発表者が CEReS の教員と学生です)

